

ADCS 沖縄大会 案内

■10月28日(土) ADCS 沖縄大会 (沖縄県立芸術大学 首里当蔵町キャンパス)

8:00- 8:45 受付

大会参加費 8000 円

9:00- 9:40 開幕式

9:45-12:00 口頭発表・ポスター発表

12:00-13:00 (昼食)自由見学

昼食(弁当, お茶) 1000 円

※県立芸大付属図書・芸術資料館:「沖縄・台湾芸術大学交流展 2017」開催中

出品者:美術工芸学部教員、助手、専門員(33名)

(絵画、彫刻、デザイン、工芸)

13:00-14:00 講演会

「乾漆立体堆錦像の技術・技法について～沖縄平和祈念像を支える伝統的漆工技術～」

糸数政次氏(沖縄県立芸術大学教授 工芸専攻)

14:00-15:00 口頭発表・ポスター発表

15:00-15:20 (休憩 ティ・ブレイク)

※学生ロービー:工芸専攻学生作品、漆芸分野授業内容展示、

沖縄県工芸振興センター研究成果(木漆工課) (終日)

15:20-17:00 口頭発表・ポスター発表

17:10-17:45 閉会式

18:00-20:00 懇親会(福利厚生棟 学生食堂)

懇親会 4000 円

※琉球舞踊(沖縄県立芸術大学 音楽学部 琉球芸能専攻学部生)

【前半の演目】1. かぎやで風 2. 四つ竹

【後半の演目】1. 谷茶前 2. 黒島口説

■10月29日(日) エキスカーション

エキスカーション参加費 4500 円

9:00 集合 デパートリウボウ前(那覇市久茂地 1-1-1 *旧「献血ルーム」前)

9:30-11:30 首里城見学

バス移動

12:30-13:30 昼食

13:30-15:00 沖縄平和祈念堂(乾漆立体堆錦像)見学

バス移動

15:30-16:30 浦添市美術館見学

17:00 解散 デパートリウボウ前

エキスカーション 訪問先紹介

○首里城

<http://oki-park.jp/shurijo/>

沖縄県が琉球王国であった時代の政治、外交、文化の中心地として威容を誇ったのが首里城です。1945年の沖縄戦で灰燼に帰した首里城は、1992年、沖縄の本土復帰20周年を記念して国営公園として復元されました。

中国と日本の築城文化を融合した独特の建築様式や石組み技術には高い文化的・歴史的な価値があるとされ、首里城跡は2000年12月に、日本で11番目の世界遺産として登録されました。鮮やかな朱色に彩られたその姿は、王国の歴史、文化の息吹を伝える雄姿であり、沖縄のシンボルそのものといえるでしょう。

○沖縄平和祈念堂

<http://kinendo.okinawakyokai.jp>

(〒901-0333 沖縄県糸満市摩文仁 448 番地 2 平和記念公園内 TEL : 098-997-3011)

沖縄平和祈念堂は、沖縄県民はじめ全国民の平和願望、戦没者追悼の象徴として、昭和53年(1978年)10月に建設されました。

堂内には、沖縄県下の各市町村及び学童による募金活動の支援を受けて、沖縄が生んだ傑出した芸術家山田真山氏が18年余の歳月をかけて原型を制作した沖縄平和祈念像が安置されています。

○浦添市美術館

<http://museum.city.urasoe.lg.jp>

(〒901-2103 沖縄県浦添市仲間 1-9-2 TEL (098)879-3219)

平成2年に日本初の漆芸専門美術館・沖縄初の公立美術館として設立された美術館。16世紀から現代までの優れた琉球漆器のコレクションを中心に、日本をはじめ周辺諸国の漆芸品も収集しています。